

あ げ お 議会 だより



第219号
令和8年(2026)
5月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話 048-775-9467

特集

新年度予算の注目ポイントは



写真：上尾さくらまつり（丸山公園）に来場された親子

特 集	令和8年度予算を徹底審査！ …	2～3ページ
主 目	Pick Up 審議された主な議案 ……	4ページ
な	委員会審査、討論 ……	5～6ページ
内	提出議案・請願とその結果 ……	7ページ
容	市政に対する一般質問 ……	8～15ページ
	委員会活動 ……	16ページ



※本会議の映像はLIVE・録画配信し、委員会などの映像は録画配信しています。

上尾市 議会中継





令和8年度予算を徹底審査!

3月定例会では、令和8年度予算を集中的に審査するため、予算特別委員会を設置し、市執行部と議論を交わしました。

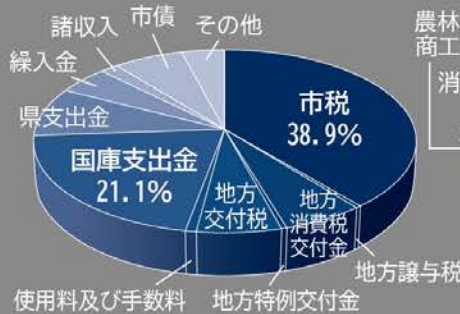
[委員構成] (◎が委員長、○が副委員長)

◎新道龍一 ○樋口 敦 黒須喜美雄 坂東知子 島津秋男
 小高 進 井上淳子 小川明仁 星野良行 佐藤恵理子
 平田通子 前島るり 海老原直矢 浦和二郎

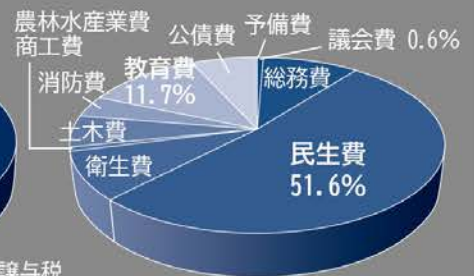
一般会計予算の構成

歳入歳出予算総額 **904.8億円**
 (前年度から20.6億円増)

[歳入の主な内訳]



[歳出の主な内訳]



💡 予算のポイントは?

1 こどもまんなか社会の実現

小学校給食費の無償化 / 中学校給食費の半額支援 / 地域子育て相談機関の設置 / こども誰でも通園制度の実施 / 朝のこどもの居場所づくりの試行実施

2 誰もが健康で暮らせるまちづくり

健康ポイントアプリ「あげお健康+」の機能拡充 / ねんりんピックの開催 / 高齢者補聴器購入費を助成 / 徘徊高齢者等見守りシールの交付

3 命と暮らしを守る防災・減災対策

防災士の養成 / 防犯カメラ設置などに対する補助制度の創設 / 東町公園・文化センターに雨水貯留施設を整備

4 将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進

モンシェリー通りでの「ほこみち制度」の活用 / 図書館本館・仮本館の整備 / 西宮下中妻線を整備 / 平方野球場にトイレを整備

適正な財政運営と管理

議会提言

Q 活用が進んでいない市有資産が多い。どのような考えがあるか。

A 現在、未利用地などの活用に関するガイドラインの策定を進めている。策定後は、このガイドラインに基づき、有効活用に向けた取り組みを進めていく。



旧堂平キャンプ場

安心して産み育てられる環境整備

議会提言

Q 予算は十分確保できたか。

A 利用が増加している産後ケア事業やオンライン子育て支援事業を増額した。また令和9年度から5歳児健康診査を開始するためのシステム改修などの経費を計上し、必要な予算は確保している。



新生児写真

子どもの居場所づくりの推進

議会提言

Q 令和8年度は子どもの居場所づくりをどう進めていくのか。

A 民間放課後児童クラブ事業費補助制度を創設する他、小学校施設を活用した放課後子ども教室の開設、朝の子どもの居場所づくり事業の実施など、引き続き子どもの居場所づくりの推進を図る。



放課後児童クラブ

学びの環境の充実

議会提言

Q 部活動の地域展開では、指導者確保における受益者負担の在り方をどう整理しているか。

A できる限り多様な種目の地域クラブ活動を実施し、質の高い指導者を安定的に確保するためには、指導者に対する謝金などは必要である。よって、参加費などの受益者負担は必要と考える。



イメージ写真

環境保全

議会提言

Q 令和7年度は住宅断熱奨励金が早期に締め切られた。令和8年度予算では市民に還元しつつ、CO₂の削減をどこまで行うのか。

A 令和8年度は予算を拡充し、市独自の要件で奨励金を支給する。また再エネ・省エネ対策推進奨励金と住宅断熱改修奨励金で約655トンのCO₂削減を見込む。



イメージ写真

地域経済活性化支援の強化

議会提言

Q 物価高や人手不足に苦しむ市内企業を支えるため、商工会議所などの関係団体との連携の質と予算をどう強化していくのか。

A 定期的な意見交換の場や、現場のニーズに即した支援策の協議を継続的に実施し、市内企業の持続的な成長につながる環境づくりを進める。また、経営相談、DX導入、販路開拓支援など、効果が見込まれる分野への予算を計上していく。

健康づくりの取り組み

Q 健康ポイントアプリの新しい機能は。

A 健康診断の結果と生活習慣に関するアンケートを入力することで、将来の健康リスクをAIが予測する機能を追加する予定である。



イメージ写真

ほこみち制度の活用

Q 新たに計上された「ほこみち制度」の目的と期待される効果は。

A 上尾駅西口モンシェリー通りで、中心市街地のにぎわい創出や活性化を目的とする。道路空間を柔軟に活用でき、日常的には、オープンカフェやキッチンカーなどの活用が期待される。



モンシェリー通り

市民の防犯対策を支援

Q 新たな一般家庭向けの防犯対策推進補助金の補助率は。

A 防犯カメラや防犯用窓フィルムなどに対し、対象経費の2分の1（最大1万円）、200世帯への補助を見込んでいる。



イメージ写真

議会提言とは

市議会では9月定例会の決算審査で出された意見を集約し、次年度予算編成に反映させるよう市長に提言を行っています。令和7年に提出された提言書の全文はこちら→



Pick Up!

3月定例会で審議された主な議案

3月定例会で審議された議案は、市長提出議案31件、議員提出議案3件、委員会提出議案1件の計35件で、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

議案第5号 令和8年度上尾市一般会計予算 過去最大となる新年度予算を編成

2・3ページで詳細を解説!

議案第15号 上尾市西貝塚環境センター・上尾市健康プラザの在り方審議会条例の制定について 新たなごみ処理施設完成後の跡地利用を協議

西貝塚環境センターは、新ごみ処理施設が令和15年度に稼働することに伴い、稼働停止を予定している。また、健康プラザわくわくランドも、西貝塚環境センターの余熱利用ができなくなる。

これら2つの施設について、令和15年度以降の在り方を令和10年度までに決定するため、審議会に諮問し、方針案を審議するもの。



西貝塚環境センター

議案第21号 上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 上尾市国民健康保険の税率などを改定

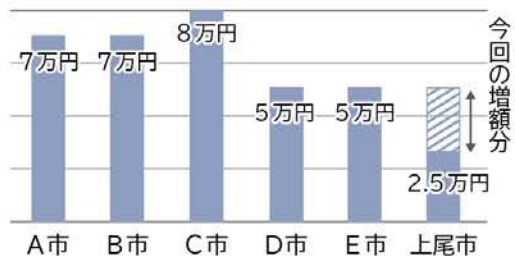
地方税法施行令の一部改正などを踏まえて国民健康保険税の賦課限度額の引き上げ、税率の見直しを行う他、新たに子ども・子育て支援納付金課税額にかかる規定を整備するもの。

	賦課限度額	所得割額	均等割額	18歳以上均等割額
基礎課税額	65万円→66万円	7.20%→8.10%	38,000円→49,233円	—
後期高齢者支援金等課税額	24万円→26万円	2.70%→2.83%	15,000円→17,105円	—
介護納付金課税額	17万円(変更なし)	2.40%→2.47%	17,000円→17,492円	—
子ども・子育て支援納付金課税額	—	0.26%	1,580円	107円

委第1号議案 上尾市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について 物価高などに対応するため、政務活動費の引き上げを決定

議会改革特別委員会では、物価高騰による政務活動に要する経費の増加を課題と捉え、検討を重ねてきました。

同規模自治体を参考にしながら協議を進め、住民福祉向上のため充実した議員活動を支える必要があることから、月額2万5千円から5万円に引き上げを行うことを提案し、全会一致で可決しました。議員一同、これまで以上に皆さまの負託に応えてまいります。



県内20~40万人都市との政務活動費(月額)の比較

※その他の議案や議決結果については、7ページ「令和8年3月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、文教経済、健康福祉、都市整備消防の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

例 市役所でのカスタハラ対策を強化

〔父モ〕 労働施策総合推進法の改正や埼玉県カスタマーハラスメント防止条例の制定を踏まえ、市役所におけるカスタマーハラスメント（カスタハラ）に関し必要な事項を整備するもの。

委員 カスハラ定義のうち「社会通念上許容される範囲を超えたもの」の具体的な事例は。

答 暴力や暴言の他、30分を超える電話などでの長時間の拘束、説明責任を果たしているにもかかわらず繰り返されるものも含まれる。委員 メールで何度も同じことを繰り返す場合も該当するか。

答 度を超えているものはカスタハラの対象となると考えている。

委員 他市では、名札の表記を名字に限定したり、電話に録音機能をつけたりしている。本市ではどのようなことを計画しているか。

答 令和8年度から名札への写真掲載は取りやめ、平仮名の名字のみ記載する。また本年1月から、市役所にかかってくる電話は全て録音する運用を開始した。さらに現在は厚生労働省の周知ポスターを掲示しているが、今後は市独自に作成することを検討している。



厚生労働省作成のポスター

文教経済常任委員会

例 大石南中学校の学校規模適正化を協議

〔父モ〕 子どもたちの学びに望ましい学校規模を実現するため、大石南中学校再編検討協議会を設置し、学校規模の適正化について協議するもの。

委員 8学級以下の状態が5年以上続くと協議が開始されるとのことだが、大石南中の学級数は。

答 平成26年度から8学級以下の状態が続いており、現在は6学級である。

委員 22人の委員のうち、公募の人数はどのくらいの予定か。

答 現在検討中だが、保護者や地域住民は広く公募していきたい。

健康福祉常任委員会

算 徘徊高齢者等見守りシールを交付

〔父モ〕 徘徊高齢者などが身に付ける物に二次元コードを印刷したシールを貼付することで、発見者がこれをスマートフォンなどで読み取り、スムーズに家族の元に戻ることができるもの。

委員 貰える枚数と申請方法は。

答 一人につき40枚（アイロン圧着式30枚、蓄光式10枚）を配布する予定である。申請は高齢介護課の窓口で受け付ける。

委員 徘徊する人を発見しても、この事業を知らなければ効果がない。市民への周知方法は。

答 認知症の支援に携わっている人や関係機関などに案内する他、広報あげおやLINEなど、市の広報ツールを使って周知していきたい。

たい。

委員 周辺市町との連携は。

答 他の市町にも協力をお願いするとともに、埼玉

県警を通して県内の各警察署にも情報共有を図っていききたい。

都市整備消防常任委員会

算 水道事業の経営状況は

〔父モ〕 令和8年度の水道事業にかかる予算を計上するもの。

委員 現行の水道事業ビジョンと収益的収入支出を比較すると、どのくらい差異があるのか。

答 県水が約20%値上げしたことにより、作成時の見込みより経営的には悪化している。

委員 今後の方針は。

答 給水人口が少なくなる見込みのため、施設の縮小・統合も視野に入れつつ、耐震化など投資すべきところには投資した上で、料金の見直しを含めて検討していく。



シールの貼付イメージ

市長提出議案に対する討論

令和7年度上尾市一般会計補正予算(第11号)

賛成 政策・市民の声 決算見込みに基づく事業費の精算や基金の積み立ては適切な内容と承知している。一方、説明に誤解を招く表現があったため、検討を求める。

令和8年度上尾市一般会計予算

賛成 志誠ネット 持続可能な財政運営、デジタル行政の推進、教育・福祉の充実、市民協働の強化といった重点政策において、着実に前進が見られる。

賛成 政策・市民の声 決算特別委員会からの提言や過去の予算に対する附帯決議などを通じて提案を行ってきた事業が数多く予算化されていることを評価する。

賛成 公明党 物価高騰が生活に大きな影響を及ぼす中、子どもから高齢者まで誰一人取り残さないとの視点が反映されているものと受け止めている。

賛成 日本共産党 学校給食費の補助、図書館本館・仮本館の整備、フレイル予防、防犯対策など、市民の要望に基づく施策が多く盛り込まれており評価する。

反対 無会派(秋山) この予算

が執行されたら、一人当たりの借入金が増加し、基金は大幅に減少する。その後どうなるのか考える、とても不安である。

令和8年度上尾市国民健康保険特別会計予算、上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

反対 日本共産党 一般会計からの繰り入れ廃止は、大幅な税負担を強いる。また子育て世帯にも負担を課す子ども・子育て支援納付金は、制度設計が矛盾している。

令和8年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算

反対 日本共産党 基礎賦課限度額の引き上げに加え、子ども・子育て支援納付金や出産育児支援金に合わせ高齢者の保険料に転嫁し、高齢者に過重な負担を課す。上尾市立大石南中学校再編検討協議会条例の制定

反対 日本共産党 国では、地域の実情に応じた柔軟な運用を認めている。また情報共有や議論の透明性にも課題がある。子どもたちの学習環境を守るため反対する。

請願に対する討論

1号重大事態に係る並行調査の実施に関する請願

賛成 公明党 調査報告がまとま

らなくとも市長の判断で迅速に再発防止策などを取りまとめられるよう、条例制定などにより環境を整えていくことは必要である。

賛成 日本共産党 本請願のような事案が発生した場合に報告書の提出が停滞しないよう、いじめ重大事態対応マニュアルの見直しを求める。

国などへの意見書に対する討論

イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和的解決を求め意見書

反対 凛結会 対話による平和的解決が大切との思いは同じだが、本事案はさまざまな要素が複雑に絡み合い、そうした背景に十分触れないまま一定の方向性を示すことには慎重であるべきと考える。

同意した人事案件

公平委員会委員に堀越洋子氏

公平委員会委員・河原塚貴美代氏の任期が令和8年3月31日で満了となるため、後任に堀越洋子氏を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

教育委員会委員に我山知奈美氏

教育委員会委員・矢野誠二氏の任期が令和8年3月31日で満了と

なるため、後任に我山知奈美氏を任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

採択された請願

令和8年3月定例会において、次の請願が採択されました。

1号重大事態に係る並行調査の実施に関する請願

※請願者は非公表となります。

3月定例会の動き

2月16日	本会議 開会、市長提出議案の上程および説明
2月20日	本会議 提出議案に対する質疑、委員会付託
2月24～27日	委員会 予算特別委員会
3月3日	委員会 予算特別委員会
3月4日	委員会 総務・都市整備消防常任委員会
3月5日	委員会 文教経済・健康福祉常任委員会
3月9～12・16日	委員会 予算特別委員会
3月19日	本会議 一般質問
	本会議 委員長報告、討論、採決、議員・委員会提出議案の上程、説明、討論、採決、閉会

派略称

あげお志誠ネットワーク⇒志誠ネット/政策フォーラム・市民の声あげお⇒政策・市民の声/公明党上尾市議団⇒公明党/日本共産党上尾市議団⇒日本共産党/凛結会(略称なし) ※会派に属さない議員は無会派と表記 ※会派名については、3月定例会時点

令和 8 年 3 月定例会 提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案 (31件)

Table with 3 columns: 議案番号 (Proposal No.), 議案名 (Proposal Name), 議決結果 (Decision Result). Lists 31 proposals, with results like '原案可決' (Original proposal approved) and '同意' (Consent).

◎請願 (2件)

Table with 3 columns: 請願番号 (Petition No.), 請願名 (Petition Name), 議決結果 (Decision Result). Lists 2 petitions with results '不採択' (Not adopted) and '採択' (Adopted).

◎議員提出議案 (3件)

Table with 3 columns: 議案番号 (Proposal No.), 議案名 (Proposal Name), 議決結果 (Decision Result). Lists 3 proposals, all with '原案可決' (Original proposal approved).

◎委員会提出議案 (1件)

Table with 3 columns: 議案番号 (Proposal No.), 議案名 (Proposal Name), 議決結果 (Decision Result). Lists 1 proposal with '原案可決' (Original proposal approved).

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願 ※○=賛成 ×=反対 ■=退席 ※議長は採決に加わりません。 ※一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決・同意。

Large table showing voting results for various proposals and petitions. Columns include member names and their votes (O for赞成, X for反対, ■ for退席). Includes a '議長' (Chairman) column and a '欠席' (Absent) column.

※会派名については、3月定例会時点



一般質問とは？

議員が、市に対し事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めたり、質問したりすることです。

3月定例会では、3月9・10・11・12・16日の5日間行われ、23人の議員が市政全般74項目にわたって市当局の見解を求めました。また5日間で延べ101人の皆さんが議会を傍聴しました。



※一部を抜粋し掲載しています。詳細は、5月下旬に市議会ホームページで公開予定です。

各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることによって、一般質問の録画映像を視聴できます。



要支援・要介護認定者の増加による課題は

星野良行（志誠ネット）

問 高齢者の増加に伴い、要支援・要介護認定者も増加している。具体的な数字を伺う。

答 本市の要支援・要介護認定者数は1万2500人（令和7年11月現在）で、1年間で638人増加している。

問 どのような課題が生じているか。

答 介護サービス事業所数は充足しているものの、介護人材の確保が課題である。また、介護サービスの利用増加に伴い介護給付費が増加しており、介護保険事業を支える保険料・被保険者への負担拡大が懸念される。

問 それらの課題に対し、どのような取り組みを行っているか。

答 介護人材確保の取り組みとしては、介護入門的研修や喀たん吸引などの研修、外国人技能実習生などを雇用する介護事業所への補助金の交付などを実施し、多種多様な介護人材の確保に努めている。また介護給付費の抑制に向けては、介護予防やフレイル予防を目的とした通いの場への支援、健康維持や交流を目的としたシルバークゲームスポーツ体験会などのイベントの開催など、介護予防の取り組みを推進している。

その他の質問

- 介護予防
- 予防接種
- 原市沼川調節池



縦割り行政を排し部局を超えた取り組みを親亡き後などの障がい者への支援の充実を

前島るり（公明党）




問 縦割り行政を排し部局を超えた取り組みを

答 市には、部局を超えて取り組みなければならぬ課題がたくさんある。今後、そのような取り組みはどのように行っていくのか、市の見解を伺う。

問 市には、部局を超えて取り組みなければならぬ課題がたくさんある。今後、そのような取り組みはどのように行っていくのか、市の見解を伺う。

答 本市では、必要に応じて部局横断的な会議体を設置して事業を推進している。今後もセクショナルリズムを排し、市民ニーズに的確に答えるという観点から行政課題を捉え、部局の枠を超えた総合的な施策の推進が図られるよう努めていく。

問 親亡き後などの障がい者への支援の充実を

答 高齢になつた親が障がいのある子どもの介護、身の回りの世話をすることは、大変なご苦労がある。障がい者や、その家族を支援する今後の見通しについて、市の見解を伺う。

問 国や県が実施しているグループホームや日中活動支援、介護サービスの拡充を要望するとともに、相談支援体制の充実を図りながら、本人とその家族が安心して生活できる環境づくりに努めていく。

その他の質問

- 性教育と、若者と連携したフレコンセブションケア
- ゴミ減量化の今後



5歳児健康診査の早期実現を

新道龍一（志誠ネット）



問 発達障害のある子どもの早期発見について、現在の本市の取り組み状況を伺う。

の中での子どもの特性を把握し、適切な対応方法を保護者と一緒に考えていく場として、5歳児健康診査の必要性を強く感じる。本市での検討状況は。

答 令和9年度からの開始に向けて、令和8年度当初予算には5歳児健康診査の準備のためのシステム改修などの経費を計上した。今後は上尾市医師会に協力を仰ぐとともに、教育委員会などと連携しながら、効果的な実施に向け準備を進める。

問 3歳児健診以降、小学校入学前まで健診がない。就学に向けた重要な準備段階に、身体発育や発達、集団



イメージ写真

その他の質問

- 市民の命を守る救急体制
- 上平地区の諸課題

いじめのない社会へ／エンディングを考えよう

小高進（公明党）



問 いじめのない社会へスクールカウンセラーの配置状況と増員の必要性は。

生活が過ごすため、早い段階からの意思決定支援や医療・介護の円滑な連携が不可欠である。市では、具体的などのような支援を行っているのか伺う。

答 在宅医療・介護連携推進事業を主要な取り組みの一つとして位置付け、地域の医師会や医療・介護の専門職と連携を図り、多職種による支援体制の構築に努めている。特に、本人や家族が希望するケアの在り方を共有できるように「人生会議」の普及啓発に注力し、専門職への研修の実施や市民を対象とした啓発活動を進めている。

問 スクールソーシャルワーカーの配置状況と増員の必要性は。

健康を維持するため

答 教育センターに8人を配置し、学校からの依頼を受け、家庭に派遣するなどアウトリーチ支援を行う。派遣状況やニーズを踏まえ適正な配置を検討する。

エンディングを考えよう

エンディングを考えよう

健康を維持するため

エンディングを考えよう

健康を維持するため

エンディングを考えよう

健康を維持するため

その他の質問

- 健康を維持するための取り組み
- 公共施設予約システム

にぎわい創出が期待できる あげおイルミネーションを

坂東知子（凜結会）



問 毎年、年末年始に「あげおイルミネーション」が実施されている。この事業には市の予算が充てられているのか。

円の費用がかかっていることになる。毎年協賛金をいただけるのであれば、年々豪華になることを期待してしまふ。イルミネーションは、観光協会で購入、装飾しているのか。

答 使用している電飾や装飾備品は、観光協会が保有するものを活用している。設置や撤去、電源工事などは委託して実施している。

答 あげおイルミネーションは、上尾市観光協会が協賛金を募集し、観光振興・まちのにぎわい創出を目的に実施している事業である。観光協会では事業予算として617万2千円を計上しているが、市としては、直接この事業に対する予算は計上していない。

問 令和7年度のあげおイルミネーションで集まった協賛金の額は。

あげおイルミネーション実施期間に設置されたアッピーファミリー



その他の質問

- ネーミングライツ
- 連携協定
- いじめ重大事態

子どもたちに安心して給食を 提供できる環境整備を

稲村久美子（政策・市民の声）



問 市内の学校給食室の給水配管で、さびが発生した。その原因をどのように把握、分析したか。

答 埋設された鉄製の給湯管の経年劣化が原因と判明した。

問 給水配管が床下や壁の中に埋設されている場合、掃除のしやすさなどの点でメリットはあるが、劣化状況の確認や部分的な修繕が難しい。そこで、配管を露出させることで目視点検が可能となり、維持管理の効率化や将来的な改修コストの抑制につながるかと考える。給水配管を露出方式とすることについて、技術的、衛生的、費用の観点からどのよ

うに評価しているか。

答 給水管の埋設は、多くの給食施設を建設した時代の主流であったウエットシステムの名残である。近年ではメンテナンス性を重視し、天井の露出配管などに改修する自治体の事例も見受けられる。この工法は、施工のしやすさに加え、コスト面・衛生面でも埋設する工法より優位性があると捉えており、現在春季休業中の改修工事に向けて準備を進めている。



露出配管の市内小学校給食室

その他の質問

●企業誘致
●自主防災および救助等

害虫から樹木を守るための 取り組みは

島津秋男（公明党）



問 近年、桜の木で害虫被害が発生しており、特にクビアカツヤカミキリによる被害は急速に拡大している。市内の樹木保全の観点からも看過できない状況だが、小・中学校における今後の方針を伺う。

答 学校の桜の木は象徴的な樹木であり、大切に残していきたいと考えている。しかしながら、被害を受けた桜の木は、被害状況によっては倒木の可能性もある。樹幹注入による対応の他、児童生徒の安全性を考慮して伐採しなければならぬ場合も想定される。

児童生徒の安心安全を第一に考慮した上で桜の木の適切な管理に努めていく。



害虫被害により穴が開いた樹木

公園の桜も市民に親しまれている大切な樹木であり、適切な管理と対策が重要と考えるが、今後の対策は。

答 市内の桜の被害拡大を懸念している。令和7年11月に庁内対策検討会議を開催し、クビアカツヤカミキリの被害状況と防除手法などを協議した。今後、施設ごとの被害を受けている桜の把握と管理手法などを継続して協議していく。

その他の質問

●本市の防災・減災

これまでの一般質問を踏まえ さらなる取り組みの前進を

金澤祥子（凍結会）



問 放課後子供教室の拡充には、担い手確保が大きな課題とのことだった。現在、コーデイネーターやサポーターなど、担い手の確保状況はどうか。

答 令和8年度は、4校で合計30人程度の体制で運営する。しかしながら、さらなる拡大には1校当たり7人以上の人員が必要である。地域住民にも協力をお願いしながら、人材育成や学生などの新たな担い手の開拓も含め、子どもの居場所の一つとして事業の拡充に努めていく。



イメージ写真

われるプラスの訴えかけをすべきと考える。市民の主体的な行動を後押しするような視点で、ごみ減量施策と有料化を結びつけた仕組みを検討できないか。

答 ごみの有料化実施の有無にかかわらず、新たなごみ広域処理施設の整備に向けて、ごみの減量を推進する必要性は高まっている。市としては、ごみを減量することが、やがて自身の経済負担の軽減へと結びつくことを広く周知し、積極的に減量に取り組める環境づくりを推進していく。

その他の質問

●道路・地下道に関する生活環境問題

平塚周辺の住環境／ 地産地消の取り組み

井上智則（公明党）



平塚周辺の住環境

問 第二産業道路の延伸に伴い、さいたま菫蒲線の平塚北交差点では慢性的に渋滞が発生しているが、対策は。

答 毎年、県に改善するよう要望しているものの、管理者である北本県土整備事務所に確認したところ、この交差点の現状は認識しているが、バイパスとなる第二産業道路の整備を重点的に進めており、現時点での対応は困難との回答だった。しかしながら、慢性的な渋滞は市民生活に影響を及ぼす。市として取れる対策を検討し、県と協議を進めていく。

地産地消の取り組み

本市には西貝塚環

境センターという重要なエネルギー資源がある。ごみ焼却によって生じた余剰電力は民間事業者が売電している

問 のことだが、せっかくの環境価値が市外に流出してしまっているのではないかと考えるが、市の見解は。

答 ごみ焼却場で発電した電気の環境価値を市内で活用し、エネルギーの地産地消を推進することは重要と認識している。しかし、国の指針改正により自己託送が厳格化され活用ができない状況にある。また、自治体が出資し新電力を設立する方式も、採算性や電力供給体制に課題があり、実現は難しい。

その他の質問

アーバンスポーツやeスポーツへの取り組み

大規模災害（地震）への対策

篠原文子（公明党）



災害時、避難所での飲料水の供給はどのように行うのか。

答 東部・北部浄水場の配水池の水を給水車で指定避難所へ運び、仮設の給水タンクから提供する。

避難所運営者や防災士向けに、避難所ごとの応急給水マップを作成する考えはあるか。

答 現在、避難所の平面図を基に、給水車の搬入経路や給水タンク設置場所を示す応急給水図を順次作成し、円滑な給水活動ができるよう準備を進めている。

能登半島地震では深刻な火災が発生したが、地震発生時の電気火災を防ぐために、どのような対策が有効か。

深刻な火災が発生したが、地震発生時の電気火災を防ぐために、どのような対策が有効か。

答 避難時にはブレーカーを落とすこと、事前対策としては家具の固定や整理整頓が重要である。また感震ブレーカーの設置も電気火災の防止に有効である。

ブレーカーの設置も電気火災の防止に有効である。



給水車



給水タンクから飲料水を提供

その他の質問

困難な問題を抱える女性への支援
父親の産後うつを防ごう

業務再設計により持続可能な行政組織の構築を

黒須喜美雄（志誠ネット）



BPRとは、業務プロセスを抜本的に見直し、業務内容を最適化し、行政全体の価値の向上を目指す戦略的な業務改善である。

問 BPRとは、業務プロセスを抜本的に見直し、業務内容を最適化し、行政全体の価値の向上を目指す戦略的な業務改善である。

答 限られた行政資源をより効率的・効果的に活用していくためにも、行政運営において有効な手段の一つと考えている。

問 東日本大震災から15年の月日が流れた。当時所属していた団体でボランティア活動に従事した際、限られた人員と物資を適材適所に配置することが早期復旧の鍵だと痛感した。こうした業務の可視化と整理、適切な人員配

置は、災害時のみならず平時の行政運営においても持続可能な組織を支える不可欠な基盤である。震災の教訓を胸に、本市の未来を守るため抜本的な業務改革と強靱な組織づくりに向けた市長の決意を聞かせてほしい。

答 市のさまざまな施策を滞りなく進めるためには、変化に対応できる柔軟な組織づくりと適正な人員配置、不断の業務の見直しが必要と考えている。災害時にも市民の財産や生活を守るよう、また日々の市政を円滑に運営していけるよう、今後も組織や人員配置に資する取り組みを積極的に進めていく。

その他の質問

スポーツ健康都市の推進
児童の安全な登下校

公園整備で魅力向上を

井上淳子（日本共産党）



問 上尾丸山公園の年間利用者数は。

答 令和4年度は約20万3千人、令和6年度は約23万4千人と増加傾向にある。

問 車椅子利用者から多目的トイレに背もたれを付けてほしいとの要望がある。改修の予定はあるか。

答 園内3カ所の多目的トイレは、後方への転倒防止や介護者への負担軽減となる背もたれを設置していない。誰もが安心して利用できるような検討する。

問 バーベキュー場は12月から3月が休みだが、桜の時期に合わせて春休み期間からオープンしてはどうか。

答 条例で利用期間を

定めているが、指定管理者と協議し、運営体制や安全管理上の課題を抽出していく。

問 運動広場のローラースケート場の路面に穴や亀裂があり、非常に危険である。どのような改修をしたのか。

答 これまで改修工事を行った記録はない。今後は路面の状況などを確認し、改修の必要性を検討する。

問 若い世代が気軽にスポーツを楽しめるよう、バスケットゴールを設置してほしい。令和8年度は3カ所の公園に設置されるが、今後の予定は。

答 利用状況や周辺環境への影響などを注視しながら検討していく。

その他の質問

- 市街化調整区域の環境保全を
- 水泳授業の今後は

桜の開花スポットで集客できるイベントの実施を

荒川昌佑（政策・市民の声）



問 丸山公園では、3月下旬ごろから「上尾さくらまつり」が開催される。ステージを設置し、市内の部活動や団体などのステージ発表、クラフト体験など、参加体験イベントを実施してはいかがかと思

答 過去にはステージイベントを実施したことがある。集客できる屋外イベントを検討していく。

問 小さい頃、丸山公園へ夜桜を見に行った記憶がある。現在、ライトアップは行っているのか。

答 夜間のライトアップは、公園の管理時間の延長に伴う安全確保、照明設備の設置・撤去

や体制確保など運営上の課題がある。

問 かつて「桜オーナー制度」があり、今でも丸山公園の桜には銘板が付いている。この制度の復活やクラウドファンディングの導入に対する考えは。

答 オーナー制度やクラウドファンディングは、貴重な財源を確保できる大変有効な手段である。新たな植樹を実施する際には、そうした手法の導入も念頭に置き、最適な仕組みづくりを考えていく。



上尾丸山公園の桜

その他の質問

- 職員の採用・離職
- 行財政運営

校内教育支援ルーム「SSR」の有効活用を

樋口 敦（政策・市民の声）



問 SSRの利用人数について、前年度との比較や、学校間の利用状況の違いは。

答 12月時点の利用人数を見ると、令和6年度が小学校44人、中学校63人の計107人で、令和7年度が小学校95人、中学校89人の計184人である。SSRは全ての学校で活用されているが、利用状況は個々の児童生徒の状況や支援員であるサポートルームティーチャー、教職員の体制などによって異なる。

問 どのような成果が表れているのか。

答 前年度のほとんどが欠席であった児童生徒が登校できるようになったり、欠席日数が

大きく減少したりした事例や、教室に復帰して生活や学習ができるようになった事例がある。また、児童生徒が一時的に学級を離れ、気持ちを落ち着かせることに役立ったという事例もある。

問 令和8年度、支援員が増えることにより期待している効果は。

答 児童生徒がサポートルームティーチャーと短期間で人間関係を構築し、安心してSSRで生活することができ、また定期的かつ継続的に児童生徒が登校できたり、教職員とサポートルームティーチャーが情報共有の時間を確保できたりするようになることを期待している。

その他の質問

- 施策の効果検証
- スポーツ環境

市所有未利用土地 堂平キャンプ場の有効利用は！

浦和三郎（政策・市民の声）



問 市が所有する、と
きがわ町の堂平キャン
プ場が閉鎖した経緯は。

答 利用者の減少や施
設の老朽化により、平
成15年に閉鎖した。

問 キャンプ場に設置
されていたバンガロー
はどこへ移設したか。

答 丸山公園バーベキ
ュー場に4棟、ライフ
コミュニケーション上
尾サッカーグラウンド
に2棟、平方野球場に
1棟移設した。

問 ときがわ町からキ
ャンプ場用地として取
得した面積と金額は。

答 土地面積は3万4
265平方メートル、
取得金額は1億980
万786円であった。

問 堂平キャンプ場の
現状は確認しているか。

答 令和6年5月に現
地確認を行った。施設
は全て撤去し閉鎖から
20年以上経過している
ことから、草木が繁茂
している状況である。

問 今後の有効利用を
考えているか。

答 旧キャンプ場をは
じめ、市の保有資産の
うち活用できていない
土地には、特性や形状
などさまざまな課題が
ある。現在「未利用地
等の活用に関するガイ
ドライン」の策定を進
めており、有効活用
に向けた取り組みを進
めていきたい。

問 市が実施している
就職相談事業について、
将来の労働需給のミス
マッチという課題を踏
まえ再設計すべきと考
えるがいかがが。

答 各種就職相談事業
では、若年層が求める
多様な働き方への対応
などの課題がある。こ
れらを踏まえ、経済産
業省が産業人材育成の
視点として示すキャリ
ア形成支援などの考え
方も参考としながら検
討していく。

海老原直矢（政策・市民の声）



問 市が進める産業人
材育成のための高校の
特色化について、市内
の高校に対して働きか
けをしていくべきと考
えるがいかがが。

答 高校の特色化につ
いては、まず都道府県
が実行計画を作成する
こととしている。県の
意向を確認しつつ、協
議していきたい。

問 これらの施策のた
め、商工課から観光部
門を分離するなど組織
体制の見直しをすべき
と考えるがいかがが。

答 市のさまざまな重
要施策の中で優先順位
を見極めながら、今後
検討していきたい。

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

産業人材育成のため、 事業の再設計と体制整備を

井上 茂（政策・市民の声）



問 さいたま水上公園
のプールが閉鎖されて
4年が経つ。跡地整備
に向け、競技力向上施
設等と公園の再編整備
は切り離して計画して
いるとのことだが、ス
ポーツ科学拠点施設整
備の今後の展開を伺う。

答 県が公表している
基本計画によると、競
技力向上施設等につ
いて令和8年度は発注に
向けた選定基準を決定
し令和9年度に公募を
行い、令和10年度以降、
基本設計に着手してい
く計画となっている。

問 上尾運動公園の再
編整備計画はどうか。

答 県では、本年1月
から5月までの間、再
編整備に関心のある民
間事業者から、より具
体的な事業提案の募集
を行っている。この提
案募集は正式な事業公
募ではなく、今後再編
整備の詳細を検討する
ための基礎資料である
ことから、現時点では
具体的な整備内容は未
定で公表されていない。
市としては、上尾運
動公園の再編整備が、
市民にとってスポーツ
の推進と憩いの場の双
方の機能を備えた施設
となるよう、県に要望
している。具体的には、
屋内25メートルプール
やランニングコース、
ランニングステーション、
アーバンスポーツ
施設の整備、樹林地を
生かしたアクティビテ
ィーの整備の他、樹林
地の緑地率の低下につ
ながらないような保全
を要望している。

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

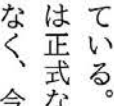
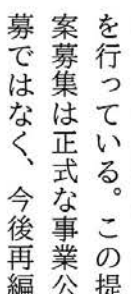
答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

水上公園跡地の整備に向けて 県に積極的な要望を

井上 茂（政策・市民の声）



問 さいたま水上公園
のプールが閉鎖されて
4年が経つ。跡地整備
に向け、競技力向上施
設等と公園の再編整備
は切り離して計画して
いるとのことだが、ス
ポーツ科学拠点施設整
備の今後の展開を伺う。

答 県が公表している
基本計画によると、競
技力向上施設等につ
いて令和8年度は発注に
向けた選定基準を決定
し令和9年度に公募を
行い、令和10年度以降、
基本設計に着手してい
く計画となっている。

問 上尾運動公園の再
編整備計画はどうか。

答 県では、本年1月
から5月までの間、再
編整備に関心のある民
間事業者から、より具
体的な事業提案の募集
を行っている。この提
案募集は正式な事業公
募ではなく、今後再編
整備の詳細を検討する
ための基礎資料である
ことから、現時点では
具体的な整備内容は未
定で公表されていない。
市としては、上尾運
動公園の再編整備が、
市民にとってスポーツ
の推進と憩いの場の双
方の機能を備えた施設
となるよう、県に要望
している。具体的には、
屋内25メートルプール
やランニングコース、
ランニングステーション、
アーバンスポーツ
施設の整備、樹林地を
生かしたアクティビテ
ィーの整備の他、樹林
地の緑地率の低下につ
ながらないような保全
を要望している。

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本

問 市が実施している
産官学連携に関する
国の交付金を得るた
め、産業人材育成のた
めのプラットフォーム
づくりを進めるべきと
考えるがいかがが。

答 市内企業の人材確
保事業については、本



堂平キャンプ場跡地

その他の質問

- 公園遊具
- 道路について

その他の質問

- ジェンダー施策
- まちづくりのグラン
- ドデザイン

その他の質問

- 公共交通

防災・防犯施策／にぎわいづくり



矢口豊人（政策・市民の声）



防災・防犯施策

問 要望してきた自治会に対する防犯カメラの設置補助金、一般家庭向けの防犯補助金が創設される。自治会に対する補助の概要は。

答 主に公道を映す防犯カメラを設置した自治会に対し、25万円を上限として補助金を交付する。

問 一般家庭向け防犯補助金の概要は。またどのような用品が対象となるか。

答 各家庭の住居で防犯用品を購入・設置した場合に、購入費の2分の1以内で1万円を上限に補助する。対象用品は、防犯カメラや録画機能付きインターホン、防犯フィルム、

防犯性の高い錠前、センサーライトなどを想定している。

にぎわいづくり

問 駅前のにぎわいづくりに向けて、スペースの有効活用を要望してきた。ほこみち活用事業の目的と概要は。

答 魅力的な空間としてのポテンシャルを持ったモンシェリー通りを再整備し、ほこみちの指定をすることで、中心市街地の活性化を図っていききたい。



上尾駅西口モンシェリー通り再整備イメージ案
※矢口作成の提案資料。実際の整備内容とは異なる。

その他の質問

子育て・教育施策

新ごみ処理施設整備は 幅広く市民の声の反映を



轟 信一（日本共産党）



問 住民説明会の参加人数と、どのような意見があったか伺う。

答 上尾伊奈資源循環組合による新ごみ処理施設の説明会は、1月14日から25日までの間、本市では6カ所の公民館で延べ12回開催され、44人の参加があった。また施設規模や浸水対策、ごみの分別などに関する質問や意見があったとのことである。

問 建設予定地周辺地域を対象とした住民説明会の参加人数と、意見はどうであったか。

答 令和7年11月22日と23日に開催され、3地区計77人が参加された。施設の処理能力や公害防止基準、上尾伊奈線などの周辺道路の

渋滞対策などに関する質問があった。

問 ごみ分別の変更点はどのように周知し、理解を得ていくのか。

答 プラスチックごみの分別については審議中だが、週1回の回収日を設け、資源化する予定である。令和8年度に方針を決定し、周知や暫定実施期間を経て、施設が稼働する令和15年度から本格実施の予定で進めている。

問 家庭ごみは有料化されるのか。

答 市民負担や不法投棄などの懸念があり、慎重な審議が必要である。市民コメントの結果を踏まえ、令和8年度に方針を決定する。

その他の質問

道路の渋滞緩和と安全対策を
治水・排水対策の強化を

子ども・若者ケアラー支援／ 犯罪・詐欺から暮らしを守るには



新藤孝子（日本共産党）



子ども・若者ケアラー支援

問 ヤングケアラーについて、本人にその自覚がない場合の対応は。

答 適切な支援につなげるため、関係機関への出前講座の実施や支援者向けのガイドブックを配布した。また児童生徒のICT端末を通し、本人に気付きを促している。

問 18歳から40歳までの若者ケアラーの把握に関する課題は。

答 学校などの所属先がなく、本人の状況把握が難しい。周囲の気付きの促進や、相談先の周知に努める。

問 視覚に訴える動画を作成してはどうか。

答 ヤングケアラーの

基本的な内容を伝える動画の他、YouTubeと当事者との対談動画を作成している。

犯罪・詐欺から暮らしを守るには

問 若者を狙うSNS型詐欺などへの対策は。

答 国の取り組みを周知するなど、若年層に向けた対応を進める。

問 高額な詐欺被害者の生活再建支援は。

答 国の「被害回復給付金支給制度」などを市ホームページで周知していく。

その他の質問

生活保護

令和8年度予算／緊急避妊薬

平田通子（日本共産党）



令和8年度予算

問 要望していた小学校給食費無料化が全国で実現する。中学校給食費も市独自で半額補助が提案されたが、国の動向はどうか。

答 小・中学校の給食実施状況の違いなど、課題を整理した上で検討することとしている。

問 基金は令和7年度末で約10億円の増、過去最高額の108億円になる見込みである。全ての世代が住んでよかったと実感できる施策を求めるが見解は。

答 少子高齢化や物価高騰など社会環境が変わる中、あらゆる世代の皆さんが住み続けたいと思えるまちを目指していきたい。

緊急避妊薬

問 人工妊娠中絶は全国で年間13万件、そのうち1万件は10代である。ようやく国内でも2月から医師の処方箋なく薬局で購入できるようになったが、どのように周知するか。

答 厚生労働省のホームページに購入可能な薬局などの一覧が掲載されている。市ホームページでも周知を図る。

問 若者の望まない妊娠を防ぎ、性被害に遭わないよう、自分の体を守るための教育はどのように実施するか。

答 発達段階に応じた指導や、助産師などを講師に学校出張講座を小学校10校と全中学校で実施している。

その他の質問

- 地域公共交通の充実を
- 不登校といじめ対策

市が取り組む環境政策は

秋山かほる（無党派）



新ごみ処理施設建設のため購入予定の土地は、大雨が降ると水没してしまうと聞いた。

問 新ごみ処理施設建設のため購入予定の土地は、大雨が降ると水没してしまうと聞いた。かさ上げが必要な土地の総面積は幾らか。またその総面積は買収予定地の何割を占めるか。

答 上尾伊奈資源循環組合によると、新たなごみ広域処理施設の建物や土地の造成に関する事項は、施設整備事業者の契約後に決定することである。

なお、施設の基本的な諸条件を定める計画案では、工場棟と管理棟を合わせて1万2900平方メートルとしており、建設予定地の敷地面積約7・6ヘクタールに占める割合は、17%程度とのことである。

る。

問 政府は大規模太陽光発電の補助金を見直して、公共施設の屋上に太陽光発電の設置を推進するようだが、本市の学校ではいつ設置される予定か。

答 本市では、事業者の費用により太陽光発電設備や蓄電池を設置し、市が当該発電設備で発電した電気の料金を支払うPPA方式の検討を進めており、市内の小・中学校も対象施設としている。現在は調査中で、学校施設更新計画との整合性や国の補助金の活用も検討し、令和8年度から令和10年度にかけて設置を進める予定である。

その他の質問

- 多文化共生社会のため
- 市の健康増進施設
- 市の高齢者福祉

災害時に避難所となる

学校体育館の設備は

大室 尚（志誠ネット）



今後は学校建て替えも多数控えている。災害拠点の避難所としても機能する設計にしてほしいが、部局間において連携は取れているか。

答 子どもたちの学びにふさわしい環境を整えることは当然のことながら、防災部署や避難所運営会議の関係者などからの意見を聴取し、避難所という観点も踏まえ更新設計を進めている。

問 災害発生時に避難所となる富士見小学校体育館の空調設備は、なぜ都市ガスなのか。

答 都市ガスを燃料とするガスエンジンヒートポンプエアコンを設置している。この空調

設備は発電・蓄電の機能を装備しており、その蓄電した電気で機器を起動した後は都市ガスを燃料とするため、災害時に停電が発生しても、都市ガスの供給が止まらない限り、空調を継続して運転することが可能。またエンジンの回転を利用して発電・蓄電を行うため、避難所となる体育館の冷暖房を維持しながら、体育館内の一部コンセントへ電力を供給することもできる。

なお、同様の空調設備は、富士見小学校を含め市内16の小・中学校の体育館に設置している。

その他の質問

- 循環型社会形成の推進
- 健康増進
- 市街化区域内の生産緑地
- 地元懸案事項

6月定例会会期予定表

- 6月5日 開会
- 10日 質疑、委員会付託
- 11日 委員会
(総務、都市整備消防)
- 12日 委員会
(文教経済、健康福祉)
- 16~19、22、23日
一般質問
- 25日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

* 6月定例会は、6月5日(金)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、6月1日(月)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<https://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 黒須喜美雄
- 副委員長 井上 淳子
- 委員 小池 佑弥
- 委員 原田 嘉明
- 委員 津田ひとみ
- 委員 小高 進
- 委員 稲村久美子
- 委員 荒川 昌佑

委員会活動

R8.2.16~R8.4.15



総務常任委員会の審査



文教経済常任委員会の審査

委員会名	月・日	案件
総務常任委員会	3/3	・3月定例会提出議案4件を審査
文教経済常任委員会	3/4	・3月定例会提出議案6件、請願2件を審査
都市整備消防常任委員会	3/3	・3月定例会提出議案10件を審査
健康福祉常任委員会	3/4	・3月定例会提出議案11件を審査
議会運営委員会	2/16~3/19	・議会運営について協議(協議回数6回)
予算特別委員会	2/20 2/24 2/25 2/26 2/27 3/5	・正副委員長の互選 ・決算特別委員会の提言確認、部局別審査(総務関係) ・部局別審査(総務・健康福祉関係) ・部局別審査(健康福祉・文教経済関係) ・部局別審査(都市整備消防・文教経済関係) ・総括質疑、討論、採決
議会編集委員会	3/19	・「あげお議会だよりNo.219」について協議

会派名の変更

4月1日付で会派変更届が提出され、政策フォーラム・市民の声あげおから上尾政策フォーラムへ会派名が変更されました。

— 意見書3件を原案可決 —

3月定例会では、議員提出議案として意見書3件を提出し、いずれも可決しました。意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆地域脱炭素施策に取り組む地方公共団体の支援強化を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 環境大臣 衆議院議長 参議院議長

◆日本政府に「非核三原則」の堅持を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 衆議院議長 参議院議長

◆イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和的解決を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 衆議院議長 参議院議長

訂正とおわび

「あげお議会だより」3月号(第218号)6ページ「本会議において賛否が分かれた議案」表中、右表のとおり「議案番号」欄の表記に誤りがありました。訂正しておわびします。

(訂正箇所)	正	誤
下から6段目	議案第123号	請願第123号
下から5段目	議案第124号	請願第124号
下から4段目	議案第125号	請願第125号
下から3段目	議案第126号	請願第126号
下から2段目	議案第127号	請願第127号



マチイロ

議会だよりを
スマホに配信!



① スマホなどで二次元コードを読み取り「マチイロ」をインストール

② 「お住まいの地域」で「埼玉県上尾市」を登録

※ダウンロードや利用時にかかる通信料はご利用者様の負担となります。